

中小企業経営バックアップ強化事業について

(1) BCP策定・BCM構築セミナー

開催地域	鹿児島市(第1回)	鹿児島市(第2回)
開催日	令和3年7月9日(金)	令和3年7月15日(木)
参加人数	76名	75名
当日の様子		

<h3>1 講義(60分)</h3> <p>[ポイント1] BCPについての基本的な事項や支援策について理解しよう</p> <p>[テーマ] BCP策定を推進する背景と有効性</p> <p>[講師] 九州経済産業局 課長補佐 鶴丸 貴信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●BCPに関するセミナー事例 BCP策定促進セミナー／BCPで負けない企業を目指す ●BCPに関する報告書 九州地域の主要製造業におけるBCPの取組に関する調査等 	<h3>2 事例報告(40分)</h3> <p>[ポイント2] 県内の同業他社はBCP策定にどのように取組んでいるのか事例から学ぼう</p> <p>[テーマ] BCP策定に向けた県内の取組事例</p> <p>[講師] (株)HR Trust 専務取締役 平田 道彦</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)九州経済研究所OBで県内にて数多くのBCP策定支援実績あり ●公益財団法人かごしま産業支援センターの専門家派遣事業における登録専門家 	<h3>3 講義(60分)</h3> <p>[ポイント3] 実効性のあるBCPとは?基本的なBCM(事業継続マネジメント)について理解しよう</p> <p>[テーマ] BCM構築のポイント</p> <p>[講師] 有(株)田経営リスク研究所 代表取締役 田 恭久</p> <p>情報通信関連企業の創業を経て、有限会社田経営リスク研究所を設立。現在、独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部事業承継コーディネーター、中小企業大学校講師を兼ねる。</p>
--	---	--

(2) 中小企業経営バックアップ強化事業費補助

県では、BCP策定に取り組む中小企業者に対し、**策定に要する経費の最大2分の1を補助する補助制度を準備しております(1社あたり上限500千円)**。

令和4年度の公募等の詳細につきましては、以下の<お問い合わせ先>までご連絡ください。

お問い合わせ先

鹿児島県 商工労働水産部 中小企業支援課
TEL.099-286-2951 FAX.099-286-5576
 Mail: shien@pref.kagoshima.lg.jp

※この冊子は、令和3年度中小企業経営バックアップ強化事業の報告書概要版として作成されたものです。

BCP策定・BCM支援に向けた取組のご紹介

— 令和3年度中小企業経営バックアップ強化事業(BCP策定・BCM支援)業務報告書(概要版) —

年々増えています! **事業を取り巻く様々なリスク(脅威)**

新型の感染症 地震 集中豪雨 大型台風 サプライチェーンの途絶

BCP策定していますか?

BCPとは、事業継続計画(Business Continuity Planの略)のことです。災害などリスクが発生した際に、重要業務が中断しないように、いち早く重要業務を復旧させる計画のことです。

平常時から事業継続について戦略的に準備しておくリスクマネジメントのひとつ

BCPの定着化

BCPの本質

・BCPの本質は、災害発生時に事業継続を図っていくための**経営戦略**です。被災すると人・モノ・資金・情報が足りなくなるという状況下で、短期間に顧客のニーズ等に対応していくためには、

- ①あらかじめ何が起こりうるか考えること
- ②その時、行うべきことを計画として定めること
- ③実際にその計画が実行できるように教育・訓練を行うこと

などを事前に備えておくことが重要であり、単に災害のための特別な備えではなく、**「日頃の経営改善の一環」**と言えます。

※BCM(事業継続マネジメント)とは策定されたBCPを有効に機能させるため、定期的な教育や訓練などを通して課題を洗い出し、改善していくPDCAサイクル活動のことをいいます。

BCP策定により期待できる効果

- 事業の優先順位、経営資源の配分が明確になる
- 各業務の手順等を見直すことで、業務の改善・効率化・標準化が進む
- 顧客や取引先、協力機関との関係性の強化、信頼性の向上
- 従業員のリスクに対する意識の向上
- 従業員の安心感・信頼感が向上し、雇用改善・定着につながる
- CSR(企業の社会的責任)やSDGsの取組推進につながる 等



BCP策定に取り組んだ企業

株式会社 サニタリー

所在地・業種：鹿児島市 産業廃棄物処理業

BCP策定のきっかけ

総合環境整備事業を広く展開し、社会に貢献できる企業を目指している。こうした中、最近では世界的な感染症の蔓延や自然災害が多発しており、自社においても非常時に社会機能を維持するための事業継続が求められ、BCP策定の必要性を感じていた。

策定の効果

自社の中核となる事業は何か、またその中核事業を構成する重要業務とは何か、不測の事象に備え事前に打つべき対策は何か、社員全員で認識することができた。特に感染症対策では、社内で実施していた対策に加え、代務者の育成など幅広い視点から対策を深めることができた。

今後の活用方策等

当社は社会インフラ維持に必要不可欠な業種であり、災害時には社員もエッセンシャルワーカーとしての役割が求められる。その際、社員一人ひとりが指示なく自主的に動けるような組織作りと人材育成にもBCPを活用していきたい。



株式会社 スズキアリーナ大隅

所在地・業種 曾於市 自動車販売・修理・リース

BCP策定のきっかけ

当社は経営理念として「車を通して地域社会に貢献する。」を掲げ、以前より災害時にいち早く車の提供や修理対応ができるよう、社会的責任を果たすためにもBCP策定の必要性を感じていた。今般、策定に関する県補助金の採択が契機となり、BCP策定に取り組んだ。

策定の効果

災害が起こると全社員、正常ではいられなくなる。その際、初動対応をはじめ災害時の手順書等が整理されていると非常に役立つ。また、BCPを策定することで、幹部職員や若い社員にも会社の動産や仕組み等の理解が深まった。

今後の活用方策等

小売業の中でもBCPを策定している企業は少ない。この現状の中でBCPを策定することは自社の強みになり、また、リスク管理のしっかりした会社、ひいては余裕のある会社と評価される。このような企業価値を高める材料の一つとしても活用していきたい。



株式会社 エヌチキン

所在地・業種：南九州市 種鶏・親鶏の集荷・処理解体、加工販売

BCP策定のきっかけ

当社の事業が中断すると県内の多くの鶏卵・鶏肉業者に影響を与えることになり、地場産業や従業員の雇用を守るためにも日頃からBCPの策定を考えていた。今般、県主催のBCP策定セミナーを受講して、本格的に策定に取り組むことにした。

策定の効果

風水害の発生時に想定される事業所内のリスクについて点検した際、今まで意識していなかったリスクを発見し、事前の対策を明確にすることができた。また、従業員の安否確認システムの導入や各種取引先リストの見直し、非常時に会社が準備すべき備蓄品、被災時の近隣住民との連携策等について整理することができた。

今後の活用方策等

以前、近くの川の氾濫により工場が被害を受けた経験から、今回は主に水害を想定したBCPを策定した。今後は地震や火災、感染症など他の非常時にも応用できるように教育・訓練に取り組み、BCPを定着させていきたい。また、健康経営にも取り組み、安心・安全な職場づくりに活用していきたい。



株式会社 ユニティ

所在地・業種 霧島市 介護保険事業



BCP策定のきっかけ

令和3年度の介護保険改定にて、「猶予期間3年にてBCP策定」が制度化されたのが契機となったが、以前より災害時や感染拡大時の対応や行動を見える化・手順化しようと考えていた。事業自体が人を相手にした事業であるため、スタッフも含め利用者等も守りたいと考えている。

策定の効果

災害や感染拡大時に見えない「不安」から、スタッフがどのように行動し対応するか、そして、各自の役割が明確になったことで、ある意味、安心を共有できた。また、作成中においても自宅や街、利用者宅周辺の状況に関心を持ち、新しい防災意識も生まれた。

今後の活用方策等

社内では作って終わりではなく、年1回BCPの改善改良を重ね、より実践的な活用ができるようにスタッフと共有を進めていきたい。また、社員の自宅や利用者宅でも活用し、横の連携や事前対策等を再構築し、「大切な命を守る行動」を広げていきたい。



株式会社 スマイルライフケア

所在地・業種 始良郡湧水町 介護保険事業



BCP策定のきっかけ

県内の3地域で介護施設を運営しており、最近では川沿いに立地する施設が大雨時に避難勧告を受けたり、新型コロナウイルス感染症の影響で1週間、閉鎖するなどリスク管理の必要性が高まっていた。今般、取引金融機関からBCP策定の県補助金制度の概要を知り、策定に取り組むことにした。

策定の効果

職員のリスクに関する意識が高まり、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の発生により施設を閉鎖した際には、各施設の責任者同士が連携して対策を協議し、いち早く再開できた。BCP策定により職員が非常時に横の連携を考えながら自発的に人繰り等の対策を実施できるようになった。

今後の活用方策等

備蓄品の確保等は検討したが、今後不測の事象が発生した場合、どのように配布するのか具体的なシミュレーションに取り組み、実践的なBCPに仕上げたい。また、防災訓練を地域の方々と一緒に実施するなど、地域との連携を強化していきたい。